

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年2月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500153
法人名	株式会社 幸楽
事業所名	グループホーム こうらく園
所在地	鹿児島県薩摩川内市下甕町手打544番地 (電話) 09969-7-0900
自己評価作成日	平成29年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

手打海岸近くに立地し、潮風の音、においを感じながら、ゆっくりとお過ごしいただけます。
また、地域行事にも積極的に参加し、地域の中の施設を意識して運営しています。
施設は台所を中心とした配置で、共用部分の天井が高く、十分な広さがあり、ゆったりした生活スペースを提供しています。
認知症の症状進行の緩和を目的に、利用者が我が家にいるように安心して過ごせるスペース、環境づくりに努め、楽しいレクリエーション、食事等を企画し、実行します。
居宅生活への復帰を目指し、個性に合わせた、自立生活の援助を行います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評し

- ・当事業所は、自治会に加入し、有線放送や防災無線等の広報で情報を共有している。地域行事の港祭りの見物や敬老会・クリスマスの小学生との交流・中学生の職場体験・ボランティアの慰問等で交流している。散歩で地域の方と話しをしたり、野菜や魚の差し入れがあり、認知症についての相談を受ける等、日常的に交流している。
- ・共用部分は、天井が高く広々として、車椅子の行き来もでき、ゆったり生活できるスペースである。各居室にトイレや洗面台があり、利用者の尊厳やプライバシーに配慮しながらより良いケアに努めている。
- ・利用者が自宅での暮らしに近い生活ができるよう、無理強いせずにその人らしい生活を支援している。
- ・協力医療機関の月2回の往診や緊急時の対応などに連携を取りながら、適切な医療が受けられるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	運営理念の周知教育を行い、理念に基づくサービスの実行ができています。	職員全員で話し合い地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、玄関や事業所内に掲示している。申し送り時やミーティング等で振り返り、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の祭りに見学に行くこともある。	自治会に加入して、有線放送や防災無線等の広報で情報を共有している。地域行事の港祭りの見物や敬老会・クリスマスの小学生との交流、中学生の職場体験等、ボランティアの慰問等で交流している。散歩で地域の方と話しをしたり、野菜や魚の差し入れがあり、認知症についての相談を受ける等、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議で認知症への理解を進めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>情報収集及び意見を収集しサービスに反映させている。</p>	<p>会議は2ヶ月毎に開催し、事業所や入居者の状況・外部評価結果などを報告し、意見交換している。行政からも情報や助言がある。防災訓練に警察署や消防署との連携について話し合い、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>随時、相談・報告を行っている。情報交換も行っている。</p>	<p>行政の担当者とは書類更新の時に窓口へ出かけたり、電話やメールで相談や情報を交換して助言を貰っている。運営推進会議でも情報交換して協力関係を築いている。行政の定期的な研修や認知症研修会・徘徊者模擬訓練にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施設における身体拘束の定義を理解し、実践している。防止委員会の設置。</p>	<p>身体拘束防止委員会を設置し、マニュアルに沿って、定期的に研修会を実施している。具体的な例をあげて職員の共通認識を図っている。言葉の拘束にも気配りしている。昼間は玄関の鍵はしていない。外に出たい利用者は職員間の連携で、ウッドデッキや東屋で外気浴をする等、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	施設における、虐待の定義を正しく理解し、実践している。防止委員会の設置		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>			
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	本人とご家族（身元引受人）の来園、見学を入所条件にしている。説明書を使用した説明および、説明に対する理解をいただき署名、捺印により確認する。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	ケアプランに家族の意向を必ず記入してもらう。運営推進会議の場を利用している。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは面会や電話、運営推進会議などが意見を聞く良い機会となっている。遠方の家族には毎月の状況報告を郵送やライン等で報告し、意見を貰っている。要望で個人で新聞を購入する等、反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議を開催し、反映している。また、日常的に施設長が申し送り等に出席し、状態を把握するよう注意している。</p>	<p>管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、申し送りや毎月のミーティング・職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。出された提案で食事の味付けやケアに関すること等を支援に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人面談の実施などにより、環境整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ケアマネ、熟練者による、新規入職者への指導、支援を行っている。職員会議で問題点の指摘・改善の指導を行う。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所の事例などを職員会議にて展開。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	会話の中から本人の意思。意向を聞きだし、ケアプランに反映するよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	説明書を使用した説明および、説明に対する理解をいただき署名、捺印により確認する。また、電話対応は24時間受け付けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアプラン作成に反映させ、変更が生じた場合、家族の同意の上随時変更している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	良好な関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入居者と入居者家族がつながるよう、連絡体制をとっている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>訪問者は常時受け付け、面会していただいている。可能な限り本人の望む場所へ一緒に行くこともある。買い物・美容室。</p>	<p>馴染みの友人知人の訪問の際にはお茶を出す等、継続的關係が途切れないよう働きかけている。出身地集落の敬老会の誘いもあり参加している。手紙や電話の取次ぎなども行っている。家族や友人知人の協力で外出や外食・墓参・理美容院利用なども支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者がお互いの部屋を訪室することを特に妨げていない。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も、相談・連絡体制をとっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意思と、健康管理とバランスを保って接している。外出拒否・入浴拒否に対して、根気強く説得している。	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努め、日頃から、利用者への気づきを大切にしている。困難な場合は利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心に検討している。外に出たい思い、自動販売機のジュースを飲みたいという些細な事でも思いを把握して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	他サービスの利用記録または診療記録を入手し、ケアプランに反映している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の行動を記録している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常記録を参考にケアプランを作成している。	本人・家族の思いや希望を把握し、主治医の意見も取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。職員の気づきを申し送りノート等で把握して、モニタリングを6ヶ月毎に行い、見直しも6ヶ月で実施、状況が変化した時はその都度見直しして、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>入居者の情報は、職員間で共有できている。</p>			
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入院時などの対応</p>			
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>				
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけの医師の診察を受けている。</p>	<p>本人や家族の希望を大切にしてかかりつけ医の支援を行っている。協力医療機関の月2回の往診や緊急時の対応などに連携を取りながら、適切な医療が受けられるよう支援している。受診結果は家族と共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	施設内に看護職員はいないが、協力医療機関との連携をとっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	情報交換を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	家族との話し合い、医療との連携を図っている。	契約時に重度化や終末期に向けた対応を説明し、同意を得ている。状況変化に伴い本人や家族の意向を随時確認し、医療機関や関係者が連携して家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。今後職員は関連の勉強会の予定である。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	連絡体制および避難経路、場所を決定している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	協力体制を確保している。	<p>マニュアルに沿って、災害訓練を年2回実施。1回は消防署立ち合いで、台風・土砂・津波災害の昼夜間想定で避難経路も確認している。自主で年1回行っている。スプリンクラーや緊急通報装置が設置され、地域との協力体制もできている。災害時の水や米・缶詰・乾パン・カセットコンロ等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員会議での職員への周知、家族様、来客様まで注意を周知している</p>	<p>マニュアルに沿って勉強会を行い、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけに取り組んでいる。入浴は一人ひとりの入浴を行い、希望があれば同性介助やノックして入室、名前の呼び方等、個々の人格を尊重した対応をしている。トイレが全居室にあり、プライバシーが守られている。失禁時等の対応で羞恥心に対する配慮がなされている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>決定は難しいが、選択肢は提示している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ある程度のタイムスケジュールを管理しているが、本人の意向に沿う形で支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>衣類の選択、化粧等の支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の下ごしらえを共同で行ったり、あとかたづけを共同で行っている。	栄養士の研修を受けながら、差し入れや旬の食材で利用者の嗜好に添った献立や食事形態を工夫している。誕生会にはお寿司、お正月、クリスマスの行事食があり喜ばれている。つわの皮むきやお盆拭きなどの準備や片づけを職員と一緒にいたりしている。手作りケーキや行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日常記録から個人の状況を把握し、支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	うがい、ブラッシング等のケアを介助して行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の体調に応じた支援を行っている。	居室にトイレが整備されている。個々人の排泄のパターンや習慣を活かして必要に応じて声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。夜間帯も個別に排泄援助を行っている。ヨーグルトや牛乳等、個々に合わせて提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルト、牛乳等を個人の口に合うようにして提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個人の意向に沿っている。	入浴は午前中、週3回を基本に行っているが、個々の希望に合わせて柔軟に対応している。入浴を拒む利用者には言葉を変えたり、タイミングをみたり、案内を工夫して支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝をする方、ベッドではなく布団がよい方、個人の意向を反映している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者が服用する薬については、職員が理解している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個人の趣味・特技を日々の生活で取り入れられるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>体調に応じて、家族・友人との外出を許可し、職員が付き添い外出することもある。</p>	<p>日常的には周辺の遊歩道を散歩したり近所の方とも話しをしたり、外気浴を楽しんでいる。計画で買い物やドライブ・各地域の行事・理美容室などに出かけている。歩行困難な利用者にも車椅子対応車を利用している。家族や友人の協力で外泊や外出、外食、墓参などの際にも支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>認知症の症状を見究め、所持させている人もいる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話、手紙の支援を行っている。時間を限らず、電話を取り次ぐ。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常時、清潔にしている。	共用空間は天井が高く開放感があり、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。台所を中心にした造りで、食事の支度が見えて利用者は生活を感じている。ホールは広々として車椅子で行き来しやすい。行事の写真や季節を大事にした飾りつけがなされ、ソファでゆったりとくつろぎながら居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	インテリアを工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設から準備するものは最低限にしているので、使い慣れたものを入れられるよう、空間を確保している。	居室にベッドやエアコン・トイレ・洗面台・タンスが設置されている。テレビや時計・家族写真・趣味の小物するなど、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、個性のある部屋づくりで、安心して過ごせるよう配慮されている。入り口にわかりやすく名札が付けてある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺を全周配置し、居室入り口に名札を取り付け、一人で移動できるようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない